

それゆけ！ ほむらくんの 消防設備講座！

第4回 送水口の見分け方

文：よしむら りょうた 絵：おぎの じゅんこ
今回は、いろいろな種類があり見分けがつきにくい送水口について、火災時に間違わないよう詳しく解説します。



連結送水管と連結水設備の違いがわかりました。送水口もいろいろあるんですね。もしかして送水口って他にもあるんですか？



他には、「スプリンクラー設備」が設置されている場合、送水口が設けられていることが多い。これは、万が一スプリンクラー設備の水源のみで消火できなかった場合、消防車から送水することで安全に消火できるようにするために設置されている。

もちろん！送水口はまだまだある。

一番わかりやすいのが「**連結送水管**」次に、前回説明した「**連結散水設備**」これらが消防隊のために設置されている設備である。



なお、一般的なスプリンクラー設備とは別に、**共同住宅用スプリンクラー設備**や、天井が高い部分でも消火することができる**放水型ヘッド**等を用いる**スプリンクラー設備**もある。その場合は別に送水口が必要となる。



いろいろな種類の送水口があるんですね。そういった送水口はどこいったところにあるんですか？



建物の入口付近や地下鉄では階段前などわかりやすい所に設置されている。

また、送水口は消防車から水を送って使うものなので、消防車両が近づけるような大きな道沿いにある場合が多い。



送水口は同じような形をしているが、**送水口ごとに標識等が設けられているので**、火災の発生場所や状況に応じて使い分けることができる。誤送水がないよう、それぞれの送水口について理解しなければならぬ。

余談だが、東京都港区の村上製作所では、おそらく世界初である「**送水口博物館**」がある。消防法制定より前からある送水口の歴史を紹介・展示されている。送水口マニアであれば一度訪れるのもいいかもしれない。



マニアじゃなくても面白いですよね。



ほむらくんの チェックポイント！

【基準】

- ・スプリンクラー設備等の送水口の基準 (平成13年消防庁告示第37号)

【送水口がある設備】

- ・連結送水管
- ・連結散水設備
- ・スプリンクラー設備 (共同住宅用・放水型)

【主な基準等】

- ・送水口には**各設備の送水口である旨を表した標識**が設けられています。
- ・口径65ミリメートル
- ・送水口の結合金具は、差し込み式又はねじ式があります (**神戸は差し込み式**)。
- ・送水口のホース接続口には**逆止弁**が内蔵されています。

- ・送水口付近には消火活動で使用するその他の設備が併設されていることがあります。

無線通信補助設備・非常電話

ブースターポンプ起動押しボタン

防火水槽等の採水口

次回 無線通信補助設備

